

ながみнадより

令和5年11月9日 第15号

カラー版、掲載以外の写真は学校ホームページへ



令和5年度

ながみなの 「生きる」「活かす」教育

自己選択・自己決定で自己肯定感を高め、自らを主体とし「生きる力」を育みます。

授業での学びを社会とつなげ、「知識」を「知恵」として「活かす力」を育みます。

知識：ある事柄について、知りえた内容
知恵：物事の筋道がわかり、うまく処理していける能力

学習指導要領が令和2年度に改訂されてから、「主体的・対話的で深い学び」「探究的な学び」などと取り上げられることが多くなりました。校長はこれが言われ始めたときから、ずっとずっと気になっていた人物がいます。そう「さかなクン」です。

さかなクンはタコをきっかけに、お魚が大好きになり、お魚屋さんや水族館を回るようになりました。1日中、水槽の前でジッとお魚さんを観察するような子だったそうです。図鑑でお魚を調べたり、お魚の絵を描いたり、興味関心はとどまるところを知らず、授業中でも没頭していたため、正直学校の勉強は苦手でした。でも家庭学習ノート(本校でいう自主学習ノート)は大好きで、調べたお魚のことをまとめて、先生の勧めもあり、調べたことで新聞を作っていたそうです。この新聞を人に読んでもらうことで、自分の書いた文や絵が、人を楽しませ、喜んでもらえることを知ります。ご本人もこの経験が、さかなクンとしての人生に大きな影響を与えたと書かれています。そして中学生の時に、カブトガニのふ化に成功し新聞に取り上げられ、高校3年生で「TVチャンピオン」の「全国魚通選手権」で「天才高校生」と呼ばれ準優勝。その後も行われた同選手権では、なんと5連覇という快挙を成し遂げます。そして彼が自分の「好きなこと」を現在もお仕事にされているのは、テレビでのご活躍を見ればわかりますよね。

さかなクン本人の著書に、『好きなこと、夢中になれるなにかがあると、毎日がワクワクでいっぱいになります。「もっと知りたい。」と探究心が出てきます。そして調べれば調べるほど、「へえ、そうだったんだ!」「おもしろい!」と、感動や夢が広がり、自分の世界もまた、自然と広がっていくのです。』と書かれています。さかなクンが誰に言われるでもなく、自分の「好き」とことん追求する。まさに「主体的」で「探究的」であるからこそ「深い」学びと言えるのではないのでしょうか。

また、さかなクンのお母さまが素晴らしく、「子どもが興味関心を持っていることは、とことんやらせる」、「失敗するとわかっていても、自ら体験することを優先」、「子どもの好きには共感し、見守り、応援する」というスタンスで、子どもに寄り添っておられます。「あれしなさい、これしなさい」と言わないことで、「自己選択・自己決定」の経験を子どもが積み重ねれば、子どもの「主体性」が育まれる。これは、私たち教職員も見習わないといけないと思っています。まさに「生きる力」ですよ。

今回の参考文献「さかなクンの一魚一会 ～まいにち夢中な人生!～」は大変学びの多い一冊でした。校長室にありますので、読んでみたいと思われた方はお声かけください。文章全部にふりがながふってありますので、中学年ぐらいから読めると思います。親子で「読書の秋」にいかがですか？



1・4年ぶりに…

第20回長瀬南地区ふれあいフェスタが本校で開催されました。明け方に雨は上がったものの、あいにくグラウンドコンディションが悪く、体育館での開催となりました。ざっと考えても、7・800人程度はご来場いただいたでしょうか。4年ぶりの開催ですが、地域の皆様の楽しそうな顔を拝見でき、事務局長としても大変嬉しく感じました。PTA 役員・学年委員の皆様には400名を超える子どものお客様の対応をしていただきました。ご協力いただいた委員の皆様、本当にありがとうございました。



2・上手な付き合い方を身につける

3～6年生が一緒にインターネット安全教室を実施しました。地域教育協議会の子育て講演会を兼ねての実施です。ネット上のいじめや、スマホ依存、ゲーム等の課金について学びました。意外と自分のスマホを持っている子も多く、よい勉強になったのではないかと感じています。ネットやスマホはもう「使わせない」は不可能に近いので、「上手な付き合い方」を学ぶことが大切です。



3・朝鮮文化に親しむ東大阪子どもの集い

チャンギルム学級の皆さんが、「第41回 朝鮮文化に親しむ東大阪子どもの集い」に参加しました。開演前は控え場所で大変緊張した様子でしたが、この日のために練習してきた成果を、大きなホールで立派に披露することができました。



4・ラグビーのまち東大阪！

今年もラグビーのまち東大阪アドバイザーの南條賢太さんにお越しいただき、タグラグビーの指導をしていただいています。1年生以外は毎年実施していますので、もう慣れたものです。ラグビーで一番難しく感じるのは、「前にパスしてはいけない」点でしょうか。だからこそ、後ろにいる仲間が味方に「声をかけてあげる」ことが大切になります。教材として本当にいいと思います。しかし南條さん、子どもの興味関心を引くのがとても上手です。我々も見習わないと！



5・食育

食育講座を実施しました。意岐部東小学校から栄養教諭の先生をお招きし、今年は5年生が受講しました。今日のテーマは「お米」。お米のいいところや、お米が原材料の食材などについてグループで学んでいました。校長は以前糖質オフダイエットで、お米を全く食べていませんでしたが、最近また食べるようになってからの方が体調良く感じます。あくまで個人的見解ですが。



6・授業参観

平日にもかかわらずたくさんの保護者の皆様に来校いただきました。子どもたちの頑張りを見ていただけて、大変うれしく思います。今後も可能な限り、保護者の皆様には学校を開いています。行事等の機会を活用し、ながみなへお越しいただき、子どもたちには前向きなふりかえりをお願いいたします。



7・親子で夢を語り合う

6年生はマツダ紙工業(株)様にご協力いただき、段ボール貯金箱「ドリームフライト」を作成する、親子参観を実施いたしました。作成は少し難しく、時間もかかりましたが、その分親子でコミュニケーションを深める、良い時間となったのではないのでしょうか。本校の卒業生ということで、たくさんの支援をいただきました松田社長、本当にありがとうございました。



8・体験することでの学び

5年生が調理実習を実施。メニューはご飯とお味噌汁という、いたってシンプルなものでしたが、グループごとに協力し、それぞれの役割をきっちりとやり遂げていました。ほんと、教室以外での学びの時間の楽しそうなこと。子どもにとって「体験する」って何より大事なことだと、小学校へ勤めるようになって強く感じています。学校と家庭の両輪で！



9・校長の学校運営

大阪府教育庁、東大阪市教育局の指導主事様に学校を訪問していただきました。短時間ではありますが、全クラスの授業を観ていただき、その後校長の学校運営に関して、様々な視点からご示唆をいただきました。学校に求められることの多さに、少し悩んでいます。



10・スポーツの秋

6年生は東大阪市の陸上記録会へ。子どもたちは到着して、まずは楽しみにしていたお弁当。保護者の皆さん、朝早くからありがとうございます。選手の皆さんは、競技場についてウォーミングアップののち、50m走、走り幅跳びに挑戦。出番前の緊張した顔と、終わった後のホッとした顔が印象的でした。観戦していた皆さんの応援や、態度も素晴らしかったです。

